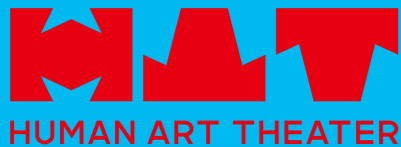


工藤龍生(脚本・演出)



手塚治虫先生の代表作『ブラック・ジャック』、中でも超メジャーな2作品を、この記念すべきブラック・ジャック連載50周年の年に演出することになり、身が引き締まる思いです。
また、5歳の時から手塚作品を自ら集め、その作品たちで育った私としては大変ワクワクした気持ちでもあります。
そして最高のスタッフ、キャストが集結し、最高の舞台作品を創ろうと日々燃えております。
今まで、お客さまが観たこともない舞台になると思いますので、是非劇場に脚をお運びください。
キャスト、スタッフ一同、心よりお待ち申し上げます。

STAFF

音響:柳原健二/照明:増子颯一(SLS)/ 振付:乾直樹/振付アシスタント:前澤亜衣子/舞台監督:岩戸堅一/舞台美術:佐藤朋有子/宣伝美術:SANZUI DESIGN
撮影:岡本隆史/音楽:高位妃楊子/ヘア・メイク:Chica(C+)/衣装:森久美子/Digital Art Producer:上田 聡/Movie Operator:松丸洋大
宣伝映像:Mirai/宣伝協力:株式会社フィルムメーカーズクラブ/
制作:(株)Human Art Theater、(株)BE GLAD PRODUCE/制作協力:(株)グローバルビジネスラボ、J-Stage Navi、アレス/キャストिंग:栢井妙子、今橋叔子
脚本・演出:工藤龍生/演出助手:旭桃子/監修:野崎美子/漫画:下條よしあき/アニメーター:市川林太郎/映像配信:(株)清月エンターテインメント
エグゼクティブプロデューサー:工藤龍生/プロデューサー:石神隆弘/企画・主催:(株)Human Art Theater、(株)BE GLAD PRODUCE
協力:アップフロントクリエイト、(有)えりオフィス、(株)オフィスPSC、(株)北前船、(株)CLEO、サンズエンタテインメント、STRAYDOG PROMOTION
CESエンタテインメント、東京電機大学、ドライブ、電気通信大学、ピースオブモダン ダンススタジオ、ホリプロインターナショナル、マウスプロモーション、ルビーバレード
企画協力:(株)手塚プロダクション

公演スケジュール

3.20(水)ー24(日) 受付開始、開場は開演の40分前



※5歳未満の未就学児のご入場はできません。
※車椅子の方のご入場は、事前にお問い合わせください。
★24日13:00 終了後トークショー有り。詳細はHPにて随時発表。

チケット情報

	特典付(サイン入り特別プロマイド)	特典付(サイン入り限定プロマイド)
SS席	13,000円	S席 11,000円
A席	9,000円	B席 7,000円
※全席指定席・税込 ※当日券は一律+1,000円となります。 ※特典詳細は随時ホームページでお知らせします。		
ライブ配信チケット	5,000円※	※オンライン配信視聴チケット

チケット取扱い

1.11(木)ーチケット販売開始

劇場用のチケット販売
J-Stage Navi
<https://j-stage-i.jp>
[03-6672-2421(平日12:00~18:00)]



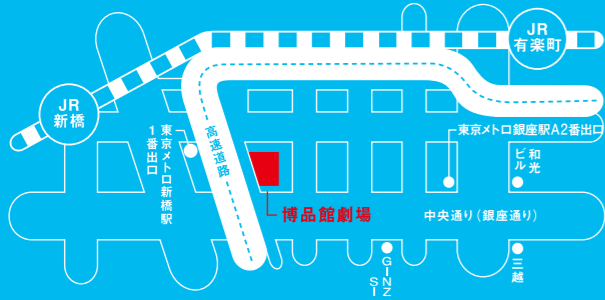
ローソンチケット(WEBのみ)
<https://l-tike.com/>
Lコード: 31392



配信チケット専用
LivePocket-Ticket-
www.t.livepocket.jp/e/blackjack50th_haishin



会場アクセス



銀座 博品館劇場

【銀座駅から】
東京メトロ
銀座線・丸の内線・日比谷線
「銀座駅」A2出口より徒歩5分

【新橋駅から】
JR「新橋駅」銀座口より徒歩3分
東京メトロ 銀座線
「新橋駅」⇒出口1より徒歩3分

住所: 〒104-8132 東京都中央区銀座8-8-11
Tel: 03-3571-1003

お問合せ先

J-Stage Navi | TEL: 03-6672-2421 (平日12:00~18:00) 当日の問合せ先 博品館劇場 | TEL: 03-3571-1003

最新情報はWEBサイトにて **www.tezuka-hat.com**



舞台

2024.3.20 Wed → 24 Sun

原作: 手塚治虫

脚本・演出: 工藤龍生
企画・主催: 株式会社Human Art Theater、株式会社BE GLAD PRODUCE
制作: 株式会社Human Art Theater、株式会社BE GLAD PRODUCE
助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [芸術文化魅力創出助成]

漫劇!!手塚治虫 第五巻
The Fusion of Comics & Theater



www.tezuka-hat.com



大塚明夫 大迫一平 山岸理子

近童武吉・乾直樹・那波隆史・松村泰一郎・湯浅雅恭・中丸新将・斉藤 暁
富田麻帆・野田晴美・さひがしジュンペイ・白峰ゆり・船橋裕一郎



「手塚治虫」と「最先端技術」の融合。現代に必要な『命の尊厳』を描く!!

「マンガの神様」手塚治虫の代表作である『ブラック・ジャック』の中でも、超メジャー作品である『人面瘡』と『畸形囊腫』に、シアターロボティクス、ムービングプロジェクションマッピングなどの最先端技術を融合させ、再構築された新たな世界観をベースに、戦争やコロナ禍で喘ぐ現代社会のホットトピックスを描く事で、エンターテインメント性を失わず、命の尊厳とは何かを問いかけ、今こそ観るべき作品を社会に提示する。



畸形囊腫 1974年2月18日号 週刊少年チャンピオン掲載 **人面瘡** 1974年12月9日号 週刊少年チャンピオン掲載

18年間、姉の体内で大きく育ったデキモノ(畸形囊腫)は、姉妹間の確執の中で「生きること」をブラック・ジャックに懇願し、現代医学の力で人間の姿(ピノコ)に生まれ変わった。生存競争、出世競争、権力闘争など、現代に通ずるテーマの中で、様々なドラマが進行する。物語のラストには、想定外の驚きの感動が待っている。

ある日突然、身体の一部に現れた醜いデキモノは人や動物の顔をしており、知性を持って訴え掛けて来た。それは妖怪か怨念か、はたまたその人物の別の顔か…。善と悪の区別が付け難くなった現代に送る、ブラック・ジャックを象徴する超メジャー作品を最先端技術で舞台化。



シアターロボティクス **プロジェクションマッピング**

『人面瘡』では、喋るロボットと俳優が協力して芝居をします。『畸形囊腫』では、ロボットが四肢単体から全身稼働で動き、ピノコとブラック・ジャックの視点から手術風景をスクリーンに投影。ガス抜きキャラのヒョウタンツギやスパイダーが走り回り、舞台を彩ります。

ムービングプロジェクションマッピングにより、俳優はキャラクターの絵柄を顔に投影し、多重人格者を演じ分けます。MANGARIUMでは原作マンガ風の背景をプロジェクターで投影し、俳優はそこで演技をします。イマーシブな漫劇!!をお楽しみ下さい。

